

令和6年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算調製にあたっての基本的な考え方

先般の能登半島地震において、被災者の方々の生命や衛生環境を守る「水」の大切さが再認識されています。企業庁では、県民の日常生活や経済活動に欠くことのできない水道用水及び工業用水を供給することで、県民のくらしの安全・安心の確保や地域経済の発展に貢献するため、効率的かつ効果的な企業経営をめざして経営改革を推進し、経営基盤の強化に取り組むとともに、三重県企業庁経営計画に基づき、事業運営を行っています。

令和6年度当初予算については、電気料金の高騰、施設の更新需要の増大や技術系職員の人材不足など、経営環境が厳しさを増す中においても、将来にわたり水道用水及び工業用水を安定的に供給できるよう、耐震化や老朽化対策など施設の改良や更新を着実に進めます。また、若手職員への技術継承、早期育成を円滑に進めるため、人への投資を積極的に行うとともに、デジタル技術を活用することで業務効率化を推進します。

2 主な重点項目

強靱な水道及び工業用水道の構築

予算額 11,907,151 千円

大規模地震などによる被災を最小限にとどめられるよう、施設の耐震化をより一層進めます。また、将来にわたり水道用水及び工業用水を安定して供給できるよう、老朽化対策など施設機能の維持・向上に取り組み、強靱な水道及び工業用水道の構築をめざします。

(1) 水道施設改良事業

予算額 7,506,797 千円[水道事業課(224-2833)]

水道用水を安定的に供給できるよう、北中勢および南勢志摩水道用水供給事業において、耐震化や老朽化対策など施設の改良や更新を計画的に行うとともに、北中勢水道用水供給事業(長良川水系)にかかる取水・導水施設の整備を進めます。

ア 耐震化

1,981,910 千円

・内径400 耗送水管布設替工事(桑名市) 他

イ 老朽化対策

3,475,061 千円

・多気浄水場非常用発電設備改良工事(多気町) 他

ウ その他(配水運用の強化など)

2,049,826 千円

・高野取水施設浸水対策工事(津市) 他

(2) 工業用水道施設改良事業 予算額 4,400,354 千円

[工業用水道事業課 (224-2835)]

工業用水を安定的に供給できるよう、北伊勢、中伊勢および松阪工業用水道事業において、耐震化や老朽化対策など施設の改良や更新を計画的に行います。

ア 耐震化 448,580 千円

- ・新屋敷取水所配水池築造工事 (松阪市) 他

イ 老朽化対策 2,947,596 千円

- ・北勢水道事務所統括監視制御設備等改良工事 (四日市市) 他

ウ その他 (配水運用の強化など) 1,004,178 千円

- ・北勢水道事務所管理本館浸水対策工事 (四日市市) 他

令和6年度当初予算 事業別総括表

【水道事業会計】

(単位: 千円)

	項目	令和5年度 (a)	令和6年度 (b)	増減 (b)-(a)	前年度比 (b)/(a)
収益の 収支	収益の収入 (A)	9,937,993	9,908,648	△29,345	99.7%
	収益の支出 (B)	9,903,714	9,893,116	△10,598	99.9%
	収益の収支差 (A)-(B)	34,279	15,532	△18,747	45.3%
	純損益 (税抜き)	△133,210	△319,338	△186,128	239.7%
資本の 収支	資本の収入 (C)	1,104,836	2,928,770	1,823,934	265.1%
	資本の支出 (D)	8,680,856	9,183,786	502,930	105.8%
	資本の収支差 (C)-(D)	△7,576,020	△6,255,016	1,321,004	82.6%

【工業用水道事業会計】

(単位: 千円)

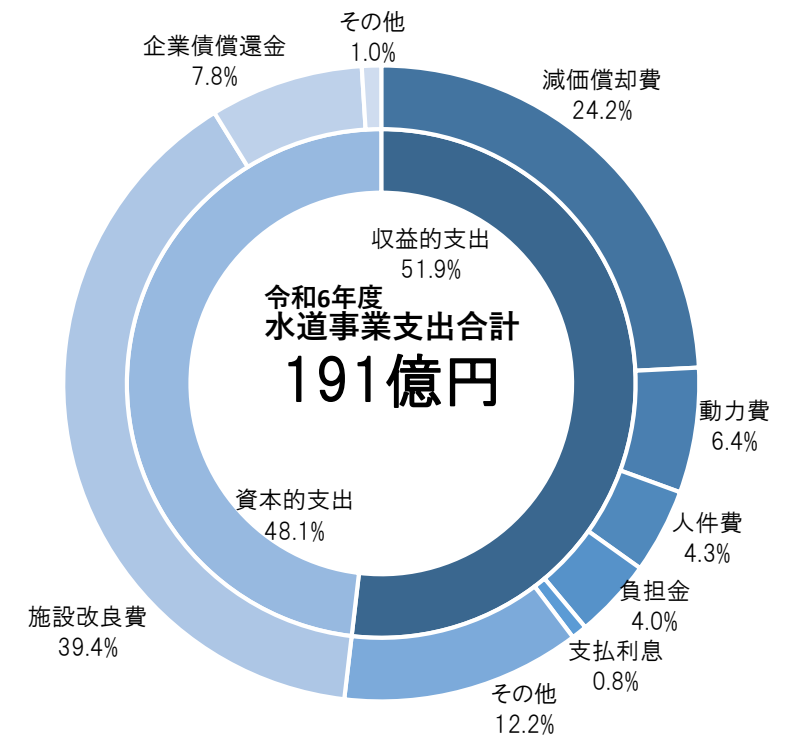
	項目	令和5年度 (a)	令和6年度 (b)	増減 (b)-(a)	前年度比 (b)/(a)
収益の 収支	収益の収入 (A)	6,346,950	6,341,854	△5,096	99.9%
	収益の支出 (B)	6,564,767	6,561,919	△2,848	100.0%
	収益の収支差 (A)-(B)	△217,817	△220,065	△2,248	101.0%
	純損益 (税抜き)	△394,907	△421,535	△26,628	106.7%
資本の 収支	資本の収入 (C)	2,852,142	2,412,422	△439,720	84.6%
	資本の支出 (D)	5,766,310	6,052,744	286,434	105.0%
	資本の収支差 (C)-(D)	△2,914,168	△3,640,322	△726,154	124.9%

令和6年度当初予算の特徴（水道事業）

- 安全・安心で安定した水道用水の供給 施設改良計画に基づき、耐震化・老朽化対策工事等を実施（対前年度比+9.9%）
- 人への投資 技術継承、人材育成を推進するため、職員研修施設等を充実
- デジタル技術の活用 ポンプ設備軸受温度データの蓄積・分析による予防保全型維持管理の推進

（百万円・%）

	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減額 (C)=(B)-(A)	増減率 (C)/(A)
収益的支出 (D)	9,904	9,893	▲ 11	▲ 0.1
減価償却費	4,537	4,617	80	1.8
動力費	1,155	1,212	57	5.0
人件費	827	822	▲ 5	▲ 0.7
負担金	790	772	▲ 18	▲ 2.3
その他	2,595	2,470	▲ 125	▲ 4.8
資本的支出 (E)	8,681	9,184	503	5.8
施設改良費	6,828	7,507	679	9.9
企業債償還金	1,663	1,490	▲ 173	▲ 10.4
その他	190	187	▲ 3	▲ 1.3
支出合計 (D)+(E)	18,585	19,077	492	2.6



※四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

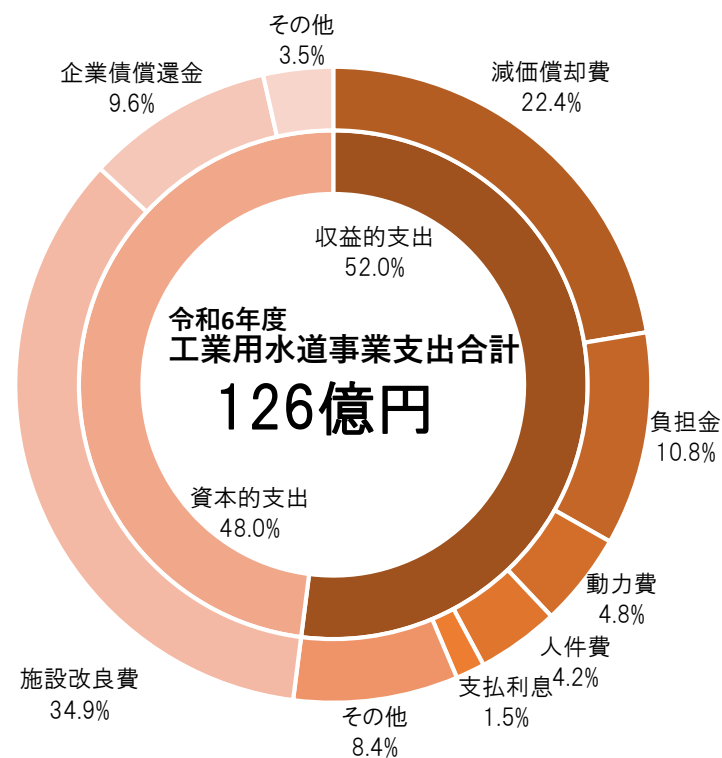
令和6年度当初予算の特徴（工業用水道事業）

- 安全・安心で安定した工業用水の供給 施設改良計画に基づき、耐震化・老朽化対策工事等を実施（対前年度比+6.1%）
- 人への投資 技術継承、人材育成を推進するため、職員研修施設等を充実

（百万円・%）

	令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減額 (C)=(B)-(A)	増減率 (C)/(A)
収益的支出 (D)	6,565	6,562	▲ 3	0.0
減価償却費	2,850	2,820	▲ 30	▲ 1.0
負担金	1,377	1,369	▲ 8	▲ 0.6
動力費	585	602	17	2.8
人件費	553	528	▲ 25	▲ 4.4
その他	1,200	1,243	43	3.6
資本的支出 (E)	5,766	6,053	287	5.0
施設改良費	4,149	4,400	251	6.1
企業債償還金	1,147	1,205	58	5.0
その他	470	447	▲ 23	▲ 4.8
支出合計 (D)+(E)	12,331	12,615	284	2.3

※四捨五入のため、合計が合わない場合があります。



強靱な水道及び工業用水道の構築

予算額 11,907,151 千円

大規模地震などによる被災を最小限にとどめられるよう、施設の耐震化をより一層進めます。
また、将来にわたり水道用水及び工業用水を安定して供給できるよう、老朽化対策など施設機能の維持・向上に取り組み、強靱な水道及び工業用水道の構築をめざします。

問い合わせ先

- | | |
|--------------|----------|
| ① 水道事業課 | 224-2833 |
| 工業用水道事業課 | 224-2835 |
| ② 企業総務課 | 224-2822 |
| ③ 技術管理・機電施設課 | 224-2656 |

水でくらしを支えます！



企業庁マスコットキャラクター『みずたまくん』

耐震化①

予算額 2,430,490 千円

水道 1,981,910 千円
工水 448,580 千円

南海トラフ地震などの大規模地震が発生した場合にも、被災を最小限にとどめることができるよう、主要施設等の耐震化を進めます。

【主な工事等】

- 水道：内径 400 耗送水管布設替工事（桑名市）
- 工水：新屋敷取水所配水池築造工事（松阪市）

送水管布設替工事の施工例



老朽化対策①

予算額 6,422,657 千円

水道 3,475,061 千円
工水 2,947,596 千円

将来にわたり水道用水及び工業用水を安定して供給できるよう、主要施設等の老朽化対策を進めます。

【主な工事等】

- 水道：多気浄水場非常用発電設備改良工事（多気町）
- 工水：北勢水道事務所統括監視制御設備等改良工事（四日市市）

改良予定の施設
（多気浄水場非常用発電設備）



その他

（配水運用の強化など）①

予算額 3,054,004 千円

水道 2,049,826 千円
工水 1,004,178 千円

施設の浸水対策を進めるとともに、県が策定した整備計画に基づき、水道事業において取水・導水施設の整備等を実施します。

【主な工事等】

- 水道：高野取水施設浸水対策工事（津市）
- 工水：北勢水道事務所管理本館浸水対策工事（四日市市）

浸水対策予定の施設
（高野取水施設）



経営基盤の強化

予算額 約1億円

（人への投資・デジタル技術の活用）

経営環境の変化に的確に対応するため、「人への投資」・「デジタル技術の活用」等により、経営基盤の強化に取り組みます。

【主な取組】

●人への投資 87,927 千円

- 技術継承、人材育成を推進するため、より実践的な研修が実施できるよう職員研修施設等を充実 ②

●デジタル技術の活用 9,756 千円

- ポンプ設備軸受温度データの蓄積・分析による予防保全型維持管理の推進 ③

